

平成29年 第3回大田市教育委員会定例会

日 時 平成29年2月24日(金) 午後3時00分

場 所 大田市教育委員会事務局

1. 開 会

2. 第1回会議録の承認について

3. 経過報告

4. 議 題

議第6号 大田市教育ビジョン基本計画について (総務課)

議第7号 大田市社会教育委員(兼公民館運営審議会委員)の委嘱について (社会教育課)

5. その他

○報告

- ・平成29年度当初予算について (各課)
- ・平成28年度3月補正予算について (関係課)
- ・平成28年度島根県学力学習状況調査結果の概要 (学校教育室)
- ・子どもの体力向上推進事業について (文化・スポーツ推進室)
- ・大田市民会館の指定管理者の指定について (文化・スポーツ推進室)
- ・平成29年度日本遺産認定の申請について (石見銀山課)
- ・生徒指導に係る報告 (学校教育室)

6. 閉 会

平成29年第3回大田市教育委員会定例会会議録

平成29年2月24日午後3時、大田市教育委員会事務局において、第3回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 平成29年2月24日 午後3時00分

閉 会 平成29年2月24日 午後4時27分

2. 出席委員の氏名

教育長 大國晴雄

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

田中教育部長 川崎総務課長 橘学校教育室長 川上学校教育室長主査

渡邊学校給食センター長 川島社会教育課長 遠藤石見银山課長

後藤人権推進課長 木村総務管理係長

6. 開 会

大國教育長開会を告げ開会

(1) 前回の会議録について

教 育 長 前回の会議録について、いかかでしょうか。私の方からですが、8頁の上から7行目の私の発言部分で、「時代に映えない」とありますが、「時代に合わない」と字句を訂正してください。その他にありますか。

委 員 (なし)

教 育 長 では、先程指摘のあった個所を修正し、承認したものといたします。

(2) 教育長の報告について

教 育 長 では、経過報告に入ります。先月は1月26日に定例教育委員会を開催しておりますので、それ以降につきまして報告させていただきます。同日、志学中学校のスキー部が全国大会に出場するという事で、市長の方に表敬しておられるということがございました。27日、市民会館の指定管理について、指定管理の選定委員会が開かれています。私と教育部長が委員でありまして、外部の委員さんも含めて、現在の指定管理者である大田市体育公園文化事業団に選定するという結論をいただいています。30日、山村留学の在り方検討委員会を開催しています。これは次回のところで報告できると思いますが、今日の意見交換も含めて、山村留学の在り方について提言をいただく予定になっています。31日教職員の人事異動の教育長会が開催されました。2月4日、まちづくり研修大会ということで、まちづくりセンターと公民館が一緒になり、あすてらすで研修大会を開催しました。5日、市民会館主催のミュージカルスクール発表会が開催されました。7日、市内の小中学校、今年は大田高校も参加いただいて、表現ダンス発表会が開催されました。ご参加いただいた委員の皆様ありがとうございました。同日、教育長会が開催されています。8日定例の校長会が開催されました。同日、石見銀山プロジェクトの市役所内の10周年関連の本部会議が開催されました。13日市議会全員協議会、14日、17日と人事評価の校長の面接を行いました。私と教育部長とで、全ての校長先生の評価面接をさせていただきました。15日、石見銀山、仁摩を拠点と

する平成29年度のしまね映画塾の打合せをしました。16日、臨時教育委員会、同日、学校保健会研究協議会が仁摩の農村環境改善センターで行われました。臨床心理士の土江先生を講師に招いて、研究会が開催されました。19日、市内のスポーツ少年団交流大会がありました。市内のスポーツ少年団の団員と指導者が一堂に会し、200名程が総合体育館で交流大会を開催しました。全体会ということで、ジュニア期の体をどうつくるのかというような、島根大学附属病院の先生の講演もありました。20日、市の公民館連合会の定例会がありました。21日学校警察連絡協議会の今年度のまとめの会があり、学校教育室の竹下指導主事が大田市教育委員会のいじめ・不登校等に関するまとめを報告しました。同日警察の方からも情報が提供され、非行と問題行動については全体としては非常に少なくなっているということで、大変嬉しく思っております。小中学校では、特段目立った非行・問題行動はなかったように思います。22日、今年の5月23日、24日に本因坊戦が大森町の熊谷家住宅で開催されますが、その実行委員会が開催されました。同日、世界遺産登録10周年の実行委員会、また、教育委員会表彰式が行われました。27の個人、4の団体を表彰いたしました。本日、市議会全員協議会、総務教育委員意見交換会が開催されました。先ほどの教育委員会表彰についてですが、受賞対象の皆さんにお越しいただき、表彰させていただきました。大田西中の柔道の鎌田さんに代表で答辞を述べていただき、この表彰を活かして引き続き頑張っていきたいというような、立派な決意を表明していただきました。以上が経過報告です。ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 では経過報告については以上で承認ということに致します。

(4) 議題

教育長 それでは議題に入りたいと思います。本日は議題、その他の報告事項については基本的に公開ですが、報告事項の生徒指導に係る報告につきましては個人名等を含めまして報告をさせていただきますので、非公開とさせていただきますがよろしいでしょうか。

委員 はい。

教育長 では、議題6号大田市教育ビジョン基本計画について総務課からお願いします。

川崎課長　それでは私の方から教育ビジョン基本計画についてご説明します。まず、概要版の表紙をご覧ください。基本計画（案）につきましては、後ほどご説明します。今後の予定についてであります。来週28日の政策企画会議で説明をします。3月13日には市議会全員協議会で説明予定です。また、3月15日から3月24日までパブリックコメントを実施したのち、3月の定例教育員会で最終的に確認していただき、市長決裁で基本計画の策定を終了し、公表する予定としております。日程について、このようにご承知ください。それでは、基本計画（案）の修正箇所比較表があります。本文と比較表に沿ってご説明します。比較表の修正前は、先日、16日の臨時教育委員会の際にお渡しした時の内容です。修正後につきましては、本日の資料ですが、修正箇所を赤のマーカーでしるしをしております。主だった変更点について、説明させていただきますのでよろしくをお願いします。では、2頁をお願いします。担い手の育成のところで、「持続可能な地域づくりを担う」としておりましたのを、「持続可能な地域を担う」と変更しております。次に、7頁です。特別支援教育の部分で、相談支援チームの活動を市内の高校も対象にする内容に変更しております。小中高の連携を図っていこうとするものです。11頁をお願いします。まず、施策①自然・文化財の保存と継承のところですが、修正前は比較表に記載しておりますように、「未来へ継承すべき遺産の保護と活用を図る」としておりましたが、「生まれ、育まれてきた有形無形の文化財など、これらの遺産を保存し、未来へ継承する」との表記にしております。続いて、「学習の場としても活用できるような展示・保管施設の整備を行う。価値を有する文化財については、指定に向けた取り組みを進め、後世にその価値を継承する。」としておりましたが、展示保管施設を削除して、「活用できるような取り組みや、文化財については指定に向けた取り組みを進める。」と表記を改めております。また、○をつけております具体的な施策、実施主体から始まる部分ですが、上下を入れ替えております。上の表記が三瓶山や琴ヶ浜で始まっておりますので、まず自然系の施策、次に文化財の施策としたところ。その上で、琴ヶ浜の国の天然記念物指定に向けた取り組みの推進という施策を追加しております。次に施策の②石見銀山遺跡の保存と活用の○の2つ目です。「新たな調査や研究成果等の情報発信」としておりましたが、「石見銀山遺跡に関する調査・研究成果等」と改めております。

30頁をお願いします。用語解説の「石見銀山学」の部分です。「歴史を貫く石見銀山の存在により、時代の変化を受容しつつも受け継がれてきた地域のシステムや有形無形の文化の総体を学ぶ石見銀山固有の地域学」としておりましたが、わかりにくいために、「地域の暮らしや生業、文化の基盤に影響してきた石見銀山を核として、現在に至る自然・歴史の遺産を通じて形成された仕組みや文化を学ぶ固有の地域学」と全文を書き直しております。大きな変更点につきましては以上です。

教育長 説明は以上です。全体の中でここについて特にという質問等がありますか。

福間委員 12頁の施策⑤のところ、文章のつながりがおかしいように思います。「三瓶山の自然・地域の歴史や産業等を活用した学習活動、三瓶自然館や三瓶埋没林公園などの社会教育施設を活用した体験学習などを基盤として、学校でのふるさと教育の一層の充実を図るとともに」という形にした方がいいのではないかと思います。

教育長 そのように変更します。その他質問等ありますか。

竹下委員 21頁の図書館のところ、実施主体が書いてある下の○の文章ですが、「地域の課題解決に役立つ資料を整備」ということと、「学習機会の提供など課題解決支援機能の充実」という2つの項目に分けた方がいいのではないかと思います。

教育長 その方が確かに分かりやすいですね。そのように変更します。ではもう少し修文して、次回に確定をしたいと思います。これで了承ということにさせていただきます。続きまして議第7号大田市社会教育委員の委嘱について社会教育課からお願いします。

川島課長 大田市社会教育委員の委嘱について説明させていただきます。2頁をご覧ください。新たに委嘱する委員の名前です。八束義夫さん、役職名は大田市人権尊重まちづくり審議会副会長、委嘱期間は平成29年2月25日から平成30年1月31日です。委嘱の理由は、大田市人権尊重まちづくり審議会の役員改選によるものです。1頁をご覧ください。網掛けをしている部分に八束義夫さんに入っていますが、これまでは江下芳久さんに人権尊重のまちづくり審議会の会長として入っていただいていたのですが、この度の役員改選により八束義夫さんに新たに入っていただくということでの提案です。委員の任期は2年ですが、今回は江下委員の残任の期間としてこの2月25日から平成30年の1月31日までを委嘱するという

ものです。以上です。

教育長 説明は以上です。よろしいでしょうか。

委員 はい。

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

(5) その他

教育長 続きますしてその他報告につきまして、項目に沿って進めて行きたいと思えます。まず平成29年度の当初予算について各課から順番にお願いします。

川崎課長 それでは総務課・学校教育室関係の当初予算について説明します。新年度は今年度に比べて教育部全体で一般財源の15%カットという、厳しい予算編成となりました。前年度の比較で、予算が下がっているのはこの影響です。1頁の4番目、英語指導外国青年招致事業は、現在5名ですが、7月に1名帰国し、8月以降4名となります。その関係で減額となっています。その下の特別支援教育体制推進事業です。今年度の介助員の実績に基づく人件費の減です。児童生徒支援事業は、子どもと親の相談員配置事業が県の基準により配置対象外となることから減額となっております。2頁目の最初の小中高魅力化推進事業です。キャリア教育推進事業・高校の魅力化推進事業・ふるさと学習・ふるさと教育の各事業を統合したものです。4番目のICT環境整備事業につきましては、27年度から進めてまいりましたが、29年度の整備をもって完了し、すべての普通教室においてICT環境が整うものです。その下の小中学校魅力化コーディネーター配置事業です。県が新たに取り組む、幼保・小中も含めた教育の魅力化推進事業を活用し、小中学校の魅力化推進を担当するコーディネーターを配置するものです。その下の就学前教育推進事業です。人件費が人事課所管となったことと就学前の団体貸出し用図書について、市立図書館の所蔵がいっぱいになったことから、廃棄分を追加補充することとしたため、減額となったものです。本年度は1,500冊の予算でしたが、新年度は300冊の予定としております。4頁の3番目、旧温泉津中学校土地整理事業です。新規事業でありまして、校庭内に埋設されている水道管を移設するものです。売却または貸付け等、土地活用の条件整備を行うものです。最後に5頁の3番目、学校再編計画改定事業です。平成29年度は0予算事業としておりますが、新たな再編実施計画の策定に向

け、取り組むこととしております。総務課・学校教育室の予算概要は以上であります。

渡邊センター長 学校給食センターから説明させていただきます。7頁をご覧ください。学校給食会運營業務委託です。25年度までは給食費1食あたり2円を給食会の事務経費として充当しておりましたが、島根県から、給食費はすべて食材費に充てることが望ましいとの指導により、平成26年度から市の一般会計より委託費として給食会の事務経費に充てるものです。以上です。

川島課長 社会教育課は8頁から説明いたします。ふるさと教育推進事業ですが、昨年度までの予算194万円から今年度21万円に減額していますが、内容につきましては、ふるさと教育の各学校への配分予算について、総務課所管の小中高魅力化推進事業に移管をしたことによる減額です。オペラ石見銀山支援事業ですが、今年7月2日の石見銀山世界遺産登録10周年記念の式典当日ですが、オペラ石見銀山が大田市民会館で昼・夜の2回公演を行います。このオペラ石見銀山について市民会館の練習から当日までの会場使用料について共催者である大田市が負担するというので280万円の予算を計上しております。9頁の琴ヶ浜環境保全事業についてです。現在、琴ヶ浜を国の天然記念物の指定を受けるための事務作業を行っております。この琴ヶ浜の環境保全について、地域住民とともに進めていくという中で、ビーチクリーナーという機械をトラクターで牽引をして砂浜を綺麗にするものを導入するというので、644万9千円を計上しております。次の本因坊戦開催事業補助です。5月23日、24日に、日本の囲碁の三大タイトルの一つである本因坊戦の第2局を大森町の熊谷家住宅で行い、この本因坊戦開催に係る開催経費の補助を実行委員会へ補助するもので、150万円を計上しています。それから、10頁になります。しまね映画塾仁摩会場開催事業についてです。来年度しまね映画塾が大田市で開催されます。世界遺産エリアである石見銀山、仁摩町、温泉津町などを主な映画製作の活動拠点として実施しようというものです。9月に3日間、撮影合宿が行われます。それから、11月には発表会を行う予定です。次に、大田市民会館公共下水道接続事業です。これは、市の公共下水道事業に伴って、順次行っているもので、平成29年度に下水道接続工事を行います。11頁、大田陸上競技場公認検定事業です。この、日本陸上競技連盟第4種公認については、5年に一度検

定がありますが、平成30年が次の更新に当たります。それを控えて、改修整備を行うため1,123万2千円を計上しております。社会教育課は以上です。

遠藤課長 それでは、引き続き石見銀山課からご説明します。13頁の石見銀山世界遺産登録10周年事業ということで、登録記念日になります7月2日の前日1日と当日2日には式典、記念フォーラム等を予定しています。また、11月24日、世界遺産を保有する全国の自治体、教育委員会の関係者を集めて、世界遺産学習サミットを開催するという2つの大きな事業を抱えています。同じく13頁、指定文化財活用事業です。内容は2つありますが、その内の1つ、大森の町並み保存地区にある宗岡家住宅が平成29年度の前半で修理が終わり、今後活用ということで検討しておりますが、備品を備えて体験プログラムの試行などを予定しています。続いて15頁になりますが、石見銀山学形成事業です。教育ビジョンの中でも掲げておりましたが、具体的には石見銀山の概説書という形で、新年度で編集・刊行を考えています。次に16頁です。石見銀山学『史料集中世編』刊行事業ということで、先程の石見銀山概説書に関わる基礎資料という位置づけをしておりますが、『史料集中世編』を刊行する予定です。以上です。

川崎課長 本日、山村留学センター長は欠席しておりますが、山村留学センターにつきましては、平成28年度とほぼ同様の事業内容で実施する予定です。当初予算については以上です。

教育長 ご質問があれば、お願いします。

委員 (なし)

教育長 特にないようですので、次の3月補正について説明をお願いします。

川崎課長 3月補正予算関係でございます。1頁目の4番目、学力・教育力向上プロジェクト事業です。多人数学級の学力向上支援員につきまして、当初は18名を予定して募集しましたが、結果として14名の配置になり、4名分の賃金を減額するものです。2頁目の就学援助でございますが、小学校費、中学校費とも実績見込みによる増減でございます。最後の子どものための教育・保育給付事業でございますが、公定価格単価の改定及び園児数の実績見込みに伴う減額があります。総務課につきましては以上でございます。

川島課長 続いて、社会教育課です。3頁の山陰自動車道埋蔵文化財発掘調

査事業です。調査量の減に伴う賃金および工事請負費の減による減額です。

遠藤課長 石見銀山課です。実績に伴う補助金額の減額、国庫補助金の割当減による減額補正であります。重要伝統的建造物群保存地区整備事業については、大森町地内の大音寺橋の改修、町並み交流センターの消火栓防災施設修理を追加のため増額補正になっています。5頁の渡辺家住宅保全活用事業については、渡辺家関連の訴訟終了に伴いまして、必要経費を支出するための予算を計上しております。

教育長 説明は以上ですが質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 それでは、ないようですので、次の県学力学習状況調査結果の概要について、学校教育室からお願いします。

橘室長 今年度の島根県学力調査の結果と今後の取り組みについて、お伝えします。調査は、昨年12月13・14日に、市内小学3年生から中学2年生全員が受検をしました。まず、教科に関する調査結果についてです。児童生徒の状況について、県全体より大きく上回っているものを○で表し、大きく下回っているものを▲で表しています。表中の上の方から学年ごとに見てみますと、小学3年生では、国語・算数ともに県平均を上回っています。小学4年生でも同様です。特に国語は大きく県平均を上回っています。小学5年生は、国語・算数とも県平均を下回っています。特に算数が大きく下回っています。小学6年生は、国語で県平均を上回り、算数でやや下回っています。中学1年生では、国語・社会・数学・理科・英語すべてで県平均を下回っています。特に理科の落ち込みが見られます。中学2年生は、国語・社会で県平均を上回り、理科は県平均と同じで、数学・英語で県平均を下回っています。調査結果から全体的に言えることは、大田市の児童生徒は文系に強く理系に弱さが見られるということです。資料にはありませんが、近年からの経年比較でみると、国語科は概ね県平均を上回る傾向があります。また、算数・数学は、県平均に近づいてきており、改善傾向が見られます。経年比較をすると全体的に子ども達はよく頑張っていると言えます。次に、生活・学習に関する意識調査結果についてです。ここでは、項目ごとに上から小・中学校共通して、良好なものと大きな課題のある、特徴的なものを挙げてみます。良好傾向のものとしては、1番目の自尊心・自己有用感、7番目の学校生活、8番目の地域・社会、

10番目の言語活動、11番目の学校での学習の5項目。一方、課題のあるものとしては、3番目の家庭学習の時間、6番目の家庭学習の内容の2項目。考察としては、学校生活の基盤となる「学校へ行くことが楽しい」と感じている児童生徒が多く、学校経営・運営が良好であることが伺えます。また、国語を中心とした文系に強い実態は、読書に関する良好な意識状況からもこれまでの学校図書館活用教育が効果を上げていると考えられます。大きな課題は、家庭学習です。小学校低学年からの学習習慣づけ、家庭の協力を得ながらも、教科学習とリンクした家庭学習の工夫が必要です。例えば、学級で行う終礼時に授業の振り返りを総括し、家庭学習の計画を自ら立てさせる取り組みを行うなど意識付けと実践につなげていくことが考えられます。また、改善策として、引き続き授業の質を向上させていくことが大切だと考えます。一斉授業の形式ばかりでなく子どもが主体となって、友達と議論し合って課題解決をする協働的・対話的な学びを積極的に取り入れていくこと。そのことを、小・中学校連携によって、義務教育の9年間で同じような学びができるようにしていくことが大切であると考えています。3月には、市内小中学校の学力育成担当者会を開くことにしています。その中でも、実践発表や意見交換を通じて、授業改善と家庭学習に重点を置き、今後の取り組みを講じていく機会にしていくことにしています。以上です。

教育長 ありがとうございます。説明は以上です。学力調査の全体についてご意見や質問はありませんか。

では、次の子どもの体力向上推進事業について社会教育課からお願いします。

川島課長 資料の6頁をお願いします。子どもの体力向上推進連絡協議会を行いました。ここで色々な意見をいただいたのと、今年度の調査結果について、まとめています。(2)のスポーツテスト実施結果及び評価ですが、小学生については全国・県平均を上回る項目が多くみられ、運動部・スポーツクラブの所属は女子の加入率に減少傾向がみられる。中学生女子の体力低下傾向はまだ改善されていない。今後、幼・保では「体を使う能力」、小学校では「走・跳・投」の基礎的な動き、中学校では「より早く、より強く」を目指し、子どもの発達課題に沿った指導を幼・保から小・中・高と連携させ、一貫した指導を目指すことが必要ではないかということが課題になっ

ています。(3)小委員会の報告として、持久力が弱いことから、持久走、ビートランニング、縄跳び、リズムダンスなどで強化すべきではないかという意見をいただいています。次に10頁をご覧ください。今年度の現状を示しています。資料2の表で体力・運動能力調査の平成24年度からの結果を載せています。○が全国・島根県の平均値を共に上回る種目数、▼は全国・島根県の平均値を共に下回る種目数です。小・中合計では共に上回るが57、共に下回るが36で、過去平成24年からの数字の動きを見ていただくと、今年度は一番いい数字になっています。12頁に各種目別の状況を示しております。全体的には全国・島根県の平均値を共に上回る種目が増えています。7頁に戻りますが、来年度については、大田市の課題種目として「シャトルラン」を全学校で取り組むこととしました。やり方としては、「ビートランニング」でサーキットなど複合的な動きも取り入れたり、週に1、2回実施することを年間通して実践するなど、各学校での年間計画を立てていくことを今後進めていきます。以上です。

教育長 何かご質問はありませんか。

委員 (なし)

教育長 それでは、ないようですので、次の大田市民会館の指定管理について、お願いします。

川島課長 市民会館の指定管理者の指定についてです。4頁をご覧ください。市民会館につきましては、現在、公益財団法人大田市体育・公園・文化事業団が指定管理者ですが、更新制選定審査ということで、平成25、26、27年度分の指定管理の内容について、審査を行わせていただきました。審査の結果、更新制という制度の基準に合致しました。また、平成30年度以降のプレゼンをしていただき、改めて審査をして合格をしました。5頁の1番上をご覧ください。今年の1月にプレゼンを行った後の審査会では、200点満点中158.5点の評価をいただきました。基準が120点を上回れば更新制の選定を受けるということで、高い評価をいただきました。平成30年度からの指定で、もう1年あるわけですが、更新制のスケジュールの中で、更新制が認められないということになった時には、29年度に一般公募をして、また指定管理を決めるということになるため、平成28年度のうちに更新制のいろいろな審査を行い、この3月議会に、指定管理者の指定について議案を上程させていただきました。

以上です。

教育長 説明は以上ですが質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 それでは、ないようですので、次の平成29年度日本遺産認定の申請について、石見銀山課からお願いします。

遠藤課長 日本遺産認定申請について説明させていただきます。まず1番目、経過についてです。発端は去年の6月に広島県尾道市から、石見銀山街道ということで、共同で日本遺産認定を目指しませんかという要請があり、沿線7市町の共同で、申請作業を開始しました。7市町については、広島県が4つの市町、島根県が飯南町・美郷町・大田市ということになります。これにつきましては、年が明けて今年の1月31日申請書を提出し、今年4月、平成29年度の認定になります。審査委員会における審査がございまして、4月末くらいに認定、公表されると聞いています。2番目、申請書の内容についてです。石見銀山から尾道までを陸路で、石見銀を運んだ道ということで、「石見銀を運んだ道―“舞う”“祈る”“おののく”」というタイトルがついています。3つ目、日本遺産についてです。文化庁が認定し、全国で100件の認定を、東京オリンピックまでに目指すという意向のようです。平成26、27年度の2か年で37件が認定され、今年度につきましては約60件から80件で、その内認定予定は17から18件程度ということで、3分の1程度と厳しい狭き門となっています。認定となると文化庁の補助金が得られることになっています。申請書の内容は裏面に載せております。沿線の街もここ10年くらい保全や活用のことをやっておられる中で、うまく認定されれば7市町が連携して様々な活用ができるのではないかと話をしています。申請書の内容につきましては、仲野委員にもご指導をいただいて、全体の考え方についてお世話になっております。ありがとうございました。以上です。

教育長 説明は以上ですが質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 以上で公開案件については終わりです。次は関係者のみとさせていただきます。

【非公開】

・報告事項 生徒指導に係る報告 (学校教育室)

教育長　それでは、議題等は全て終了致しました。次回の定例会は3月28日です。よろしくお願いします。

—